



あなたの絵を「扇子」にしよう!

(地紙に絵を描いてもらいます)

あなただけの扇子を作ませんか?
プレゼントにもいいですね!

京都の老舗扇子屋さん加工依頼 ⇒ 「京扇子」として完成

今回の講座は絵付けのみで、絵のジャンル・画材は自由です。
ご自分で絵や図案を用意されても、準備したサンプルを模写しても構いません。

●日時: 5月18日(木) 午後5時半～8時

5月20日(土) 午前10時～午後4時

●定員: 先着15名(中学生以上)

●場所: 御殿山生涯学習美術センター 創作室3

●費用: 材料&加工費 1800円/1本 (扇子骨「茶色」は+300円、地紙追加は+100円)

●講師: 矢野正義氏

※【お願い】 絵筆や絵の具(顔彩・水彩・アクリル等)をお持ちの方はご持参ください。

5月18日,20日、両日程のうち、

1日のみの参加、両日参加、どちらでも構いません。

※地紙を事前に受取り、自宅で絵付けの上、参加も可能です。(※裏面の注意事項確認)

受付: 5月2日(火)午前10時から
御殿山生涯学習美術センター窓口にて受付(電話予約可)

主催: 御殿山生涯学習美術センター 活動委員会

申し込み・問い合わせ: 枚方市立御殿山生涯学習美術センター

TEL 050-7102-3135 FAX 072-847-8351

地紙に描くときの注意等について

(より良く見せるために)

加工前
白紙の地紙に
描いた状態

地紙は
大・小 有り

加工

扇子屋さんで
加工後の状態

加工後の波型により、
絵柄が左右(扇形)に、
縮まって見える

加工時に周辺(内外
左右)がカットされる

加工時に内周縁が
カットされた結果、
狭くなっている

- ① 扇子に加工されると、絵柄は、扇形に左右が縮みます。
加工時、地紙の内周縁・外周縁・左右縁がカットされます。
⇒描くときは、扇形に沿って多少横長めに描く。
⇒地紙より少し内側に描く
※具体的な状態は、上図の加工前後を参照ください。
- ② 厚塗りすると「にじみ・汚れ」が生じやすくなります。
⇒厚塗りは、加工時の折り曲げで割れやすく、滲みの原因になります。
⇒厚塗り無しでも、加工時に「湿らせる」為、にじみ・汚れが出る場合もあります。

下書き用紙又は地紙が必要な方は窓口までお申し出ください

- ・ 下描きしておきたい方 → 下描き用紙 (A3大、扇形枠線入り:無料)
- ・ 講座までに描いておきたい方、自宅で作品をある程度仕上げておきたい方 → 地紙

※地紙1枚は材料・加工費:1800円に含まれています。別途必要な場合は1枚100円が必要です。